

議会だより

58号

2014年6月定例議会

題字：仲宗根 彩京（渡慶次小学校6年生）

議員一般質問（17名）…………… 4



第12回 村内小学校陸上競技大会
めざせ！未来のオリンピック選手



平成26年 第431回 定例会 議決結果賛否一覧表

件名	議決結果	議席																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
	氏名	知花徳栄	比嘉郁也	仲宗根盛良	伊波勝篤	當山勝吉	大城行治	當間良史	上地利枝子	山城正輝	城間勇	嘉手苧林春	津波古菊江	山内政徳	長浜宗則	照屋清秀	上地眞栄	伊佐眞武	國吉雅和	新垣修幸	
第 回 定 例 議 会																					
平成26年度読谷村一般会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度読谷村診療所特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度読谷村水道事業会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
読谷村税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
読谷村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
読谷村体験滞在交流促進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度村道中央残波線整備工事（1工区）請負契約について	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度村道楚辺座喜味線整備工事（1工区）請負契約について	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度村道波平～都屋線整備工事請負契約について	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
損害賠償の額（車両事故による対人損害賠償）を定めることについて	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分の承認（読谷村税条例等の一部を改正する条例）を求めることについて	承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決処分の承認（読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承認	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書について	採択	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
子ども医療費を入院に続き、通院も中学卒業まで無料とすることを求める陳情について	採択	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大添地域交通環境改善に対する支援要請について	採択	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
こども医療費を入院に続き、通院も中学卒業まで無料とする県の助成に関する意見書	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本国憲法の解釈改憲による集団的自衛権の行使に反対する意見書	可	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	
平成25年度読谷村繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	報告	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は-、欠席者は欠としています。 議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。 </div>																			
平成25年度読谷村繰越明許費繰越計算書（下水道事業特別会計）について	報告																				
平成25年度読谷村水道事業会計予算繰越報告について	報告																				
専決処分の報告（読谷小学校（15号棟）・渡慶次小学校（13・18棟）耐震補強工事請負契約の変更）について	報告																				
平成26年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報告																				

一般会計補正予算 1億9,986万9千円を追加

主な事業内容

◎跡地利用推進事業（一括交付金）

読谷補助飛行場返還の碑実施計画委託料	3,008,000円
現場技術業務委託料	5,832,000円
シムクガマ カー森広場整備基本計画策定委託料	8,722,000円
読谷補助飛行場返還の碑整備工事費及び不戦の碑移設工事 (場所：中央残波線沿い 期間：10月～2月までの予定)	50,572,000円

◎伝統工芸振興事業

工芸品県外プロモーション委託料	14,260,000円
-----------------	-------------

◎大木地区土地区画整理事業

対米請求権助成金事業	7,733,000円
------------	------------

◎村道比謝牧原線整備事業実施計画設計委託料	9,612,000円
-----------------------	------------

◎体育施設運営事業基本計画委託料（運動広場周辺整備）	15,671,000円
----------------------------	-------------

他

意見書

こども医療費を入院に続き、通院も中学卒業まで無料とする県の助成に関する意見書

可決

読谷村では、「こども医療費助成」の入院について、平成23年4月より対象年齢を中学卒業まで引き上げ、村内の子育て世代、保護者から大変喜ばれています。沖縄県も平成24年10月1日より同様な助成を実施し、県内全市町村においてこども医療費の中学卒業まで入院無料化が広がったことは大変喜ばしいことであり、県の施策に対し心から歓迎と敬意を表します。

一方、最もニーズの高い「こども医療費助成」の通院費に関しては、県の基準が対象年齢3歳までとなっており、独自に対象年齢を引き上げている市町村は14自治体で、全体の34.1%となっております。

沖縄県が「通院費」助成対象年齢を引き上げ、入院に続き通院も中学卒業まで適用することになれば、県内ですでに実施している14自治体に加え、多くの市町村も対象年齢引き上げの積極的な対応ができ、子どもが病気やけがをしても安心して医療が受けられることとなります。

経済的理由で受診を我慢し、又、治療を中断するなどそのために重症化するようなことがあってはなりません。子どもたちの健康と成長が大きく阻害されている現状が医療や学校現場から報告されています。

沖縄県社会保障推進協議会より出された「入院に続き、通院も中学卒業まで無料化とする県の助成に関する請願」が平成25年3月29日の第1回沖縄県議会において全会一致で採択されており、県としても早急に実施されることを強く要望します。

あて先 沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

日本国憲法の解釈改憲による集団的自衛権の行使に反対する意見書

可決

読谷村議会は、憲法解釈変更による集団的自衛権の行使に対し、立憲主義や憲法の基本原理である恒久平和、平和的生存権、戦争放棄の立場から改めて強く反対するとともに、集団的自衛権の行使を行わないよう要求する。

宛て先

内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長



上地 榮

一 村道楚辺線の登下校時の安全対策について

問 現在、ポールを立てて対策しているが、道路がせまく、消防車も立ち往生していた。ポールを撤去して斜線かペンキを塗ることはできないか。又、ガードレールを移動して道路の拡幅ができないか。

答 関係者などと協議したが、歩行者の安全のためには現状のままが効果的である。又、道路の拡幅については、概略設計を入れてみて、どういった整備が望ましいのか検討する。

二 楚辺浄化センターの臭気対策等について。

問 同センターは臭くない施設と聞いていたが、最近よく臭くなる。その原因と対策はどうなっているか。

答 臭い原因は処理槽で沈下した汚泥を引き抜く際に、ポンプに絡まるなど支障となるゴミを処理槽上部から回収した際、ゴミを一時的に直接地上に放置したためである。対策としては、回収したゴミを直接ビニールに入れ、風向きも考慮し作業を行う。又、薬品、消臭剤等も使って対策する。



消臭対策はしっかり行います。

三 労働福祉行政について

問 本件については、平成

答 読谷補助飛行場跡地等の設置場所の確保ができないか基本計画等の整合性を図りながら建設場所の検

24年度予算審議において、労働費予算が約62万円しか計上してなく、その点について指摘をしたところ、早速補正予算で約100万円の予算が計上され「ゲッジョブサポート読谷」等の就労支援事業が開始された。同事業の就職相談及び就職状況と運営等について伺う。

問 事業概要と実績は。

答 平成25年度の就職状況は、窓口利用者が156名、就職者は61名である。運営面では嘉手納町と協定を締結し、相互の相談窓口を利用できるようにになっている。

四 ドーム型多目的広場の闘牛場建設について

問 平成23年9月議会において、読谷型の観光施策として、同事業の建設について質問したが、検討結果はどうなっているか。

答 読谷補助飛行場跡地等の設置場所の確保ができないか基本計画等の整合性を図りながら建設場所の検

五 中学生「海外ホームステイ派遣事業」について

問 国際性豊かでチャレンジ精神旺盛な生徒の育成を図るため平成12年度から開始され、平成25年度までに132名の中学生が海外に派遣され研修した。研修期間は約一ヶ月、研修費用は55万円個人負担が25万円となっている。

答 国際性豊かでチャレンジ精神旺盛な生徒の育成を図るため平成12年度から開始され、平成25年度までに132名の中学生が海外に派遣され研修した。研修期間は約一ヶ月、研修費用は55万円個人負担が25万円となっている。

六 共生社会条例の本村における取り組みについて

問 本県においては、同条例が今年の4月から施行されたが、学校現場においてはどうなっているか。

答 平成26年度の対象児童は向中学校で10名、五小学校在49名となっている。特別支援コーディネーターを中心に学校全体で取り組んでいる。



仲宗根盛良

一 嘉手納弾薬庫地区の今後の展開について

問 中部広域で提起されている中央残波線を東に直進させ、沖縄市までの道路計画を具体化し、継続して要請すべきではないか。

答 読谷村や中部広域市町村にとって、緊急搬送体制のほか、観光や地域産業振興に必要な道路であり、東西幹線道路として実現できるように国、県に要請を続けて参ります。

二 村民の健診結果の有効活用について

問 国保と社会保険加入者の健診結果を統合し、村民の健康づくりに取り組むべきでないか。

答 国保加入者が37%、その他6割強が社保加入者ですので情報を共有し、有効活用を図って参ります。

三 特定健診率等の向上対策について

問 一年間保険診療を受けなかった世帯に対し、現金やギフトセットなどの支給の方策はないか。又、該当世帯は何世帯あるか。

答 県内外の事例などの調査をしたい。一度も保険診療を受けていないのは492世帯あります。

問 人間ドック・脳ドック補助の人数を増やすべきでないか。

答 期間内に申し込んだ方

については柔軟に対応したい。今後プロジェクトをつくり検討します。



五 村道、農道周辺の排水溝の清掃について

問 村道、農道も整備された反面、排水溝への土のつまり等が多く、各自治会と連携し、清掃管理を強化すべきでないか。

答 各自治会で年2回の清掃活動を行っており、自治会とも協議して参ります。

四 村教育の日を定める要綱について

問 児童生徒の帰宅時間等の励行のために、行政無線を活用して放送できないか。

答 各自治会とも調整の上、検討して参ります。

答 委員会としても各学校へ奨励しているところです。

六 女性の村民議会の開催計画について

問 子ども議会の開催も提案して来ましたが、女性の意見を集約する為にも女性の議会を計画すべきでないか。

答 女性の意識啓発に大きな効果があるものと思いい、女性団体と意見交換を進めます。



上地利枝子

問一 母子家庭生活支援事業を中部広域で設置することについての進捗状況

答 本事業に関する事務の共同処理について、現時点では、中部広域市町村圏事務組合での調査検討は行わないとの内容で連絡がありました。

再問 支援が必要と思われる世帯への対応

答 本村ではこども未来課の中では家庭児童相談員という職員が2名配置されておりますので、その中で相談業務を行いつつ、沖繩県の施設と連携、そして中部福祉保健事務所や女性相談所等と連携をし、対処していきたいと考えております。

問二 村内道路の安全対策

問 ① 波平東門交差点の安全対策について伺います。

答 交差点3カ所とも横断歩道の白線が消えかかっていますので、県道12号線の横断歩道については、中部土木事務所へ横断歩道の塗りかえを要請いたしました。隣接する村道波平座喜味線の停止線につきましては、塗りかえたいと思います。

問 ② 渡慶次小学校通学路の安全対策(高志保く字座線) **答** 運転手への注意を促す蛍光色の看板設置、路面の改修工事を実施した際に外側線を設置しております。

問 ③ 古堅南小学校前、村道大木く古堅線の道路整備 **答** 7月31日までの工期で165メートルの区間の工事を予定。残りの区間については次年度以降に行う予定。

問三 発達障害児の支援体制について、保育園、幼稚園、小学校での支援員配置と関係機関との連携。

答 児童の障がいに応じて保育士を配置し臨床発達心理士や特別支援教育コーディネーターによる巡回指導等を実施し、保育士・保護者に対する指導・助言を行っています。必要に応じて保健師が個別訪問し、情報交換を行う等の対応をしています。支援員配置については、村立幼稚園、小学校に特別支援教育支援員を配置し、必要に応じて関係機関への案内を促し、情報を提供する等、関係機関との連携も行っております。

問四 ファミリーサポートセンターの利用者への配慮について、母子世帯、生活保護世帯そして複数のお子さんがいる場合等、村として助成する予定はないか伺います。

答 事業がスタートしたばかりですので、そういった詳細についてはまだ検討はしてございませんが、そういったことも必要ではないかと、こども未来課では考えております。



子育てサポートを利用しましょう！



長濱 宗則

一 学校教育から

問 古堅南小学校グラウンドの砂埃対策は

答 グラウンドの散水栓整備を行い学校職員が水撒きしている。グラウンド周辺に植樹し緩衝緑化を計画したい。

問 スプリングクラーの設置、芝生化できないか

答 設置費用や維持管理を考えた場合、予算的に厳しく、手巻きの散水で対応したい

問 古堅小学校の遊具、(ハチマルタワー)対応について

答 安全上の問題から24年の途中から使用禁止している。補修、撤去か相談しているがPTAと学校側の方向性が決まっていないので相談して対応したい。



運動場の砂ほこり対策を！

二 読谷村の高齢福祉から

問 養護老人ホーム入所制限の措置控えについて

答 65歳以上で、身の回りのことは自分で出来ること。在宅での生活が困難であるのが基準となりますので読谷村には該当する希望者はいませんので措置はしていません。

問 オレンジプランの進捗状況は

答 平成25年から29年までの認知症施策推進5年計画「オレンジプラン」を策定している。地域包括支援センター職員が中心に相談や認知症の講演会、認知症サポートーナー養成を行っている。若松病院と連携し認知症疾患医療連携協議会を計画し

三 村民の健康から

問 生活習慣病で糖尿病の村内の有病率と対策は

答 平成24年度国保特定検診から84%で肥満や内臓脂肪症候群の改善、または早期発見して重症化の予防に努めている。

問 子宮・乳がんの健診率は

答 24年度は子宮頸がんが13%、乳がん16%となっている。

四 読谷村しまくとぅばから

問 村内各所で日常的に使用されているしまくとぅばを保存すべきでは

答 歴史資料館で明治、大正時代生まれが伝承したしまくとぅばで語られる村内各地の民話を調査、保存している。

五 雇用の創出から

問 読谷村の入客数と村内ホテルの宿泊数は

答 平成25年度暫定で204万702人で、ホテル5施設の宿泊数は64万7892人である。

問 渡具知温泉付きりゾートホテルの進出による経済効果と雇用の創出は、

答 村内における企業の進出は経済効果が生じるものと想定される。

問 雇用、税収の面から読谷村の大きなメリットが期待されますが村長としての考えは

答 読谷村は比謝町、渡具知から残波岬まで非常にサンセットの美しい西海岸を要している。クリアすべきハードルもありますが、総合的にみみなで知恵をだし調整してゆきたいと考えている。



照屋 清秀

一 読谷村第4次総合後期計画のゆんたんざ産業づくり農業振興で読谷補助飛行場跡地等農業基盤整備推進事業展開中ですが

問 現在の基盤整備の進捗状況は

答 平成25年度末、畑地帯、総合整備事業で約53%、かんがい排水事業で約69%。

問 整備済の施設内で生産活動の内容と成果・課題は

答 平成25年度生産量で小菊327万9千本、野菜413トン、課題は機械化による営農の効率化や土壌等に適応した機械の選定・改良が必要。野菜、果樹の栽培技術の向上も課題。

問 ブランド化による付加価値の収益性の高い農業で、付加価値の高い作物とは

答 付加価値で収益性の高い作物はマンゴー、ニンジン、ゴーヤー、紅イモ、小菊を考えており、ブランド化をめざして取り組む。

問

問



よみたんブランドのロゴマーク

問 農業基盤整備に伴い農業従事者育成は重要と思うが

答 農業従事者育成には読谷村担い手育成総合支援協議会を中心に、関係機関と連携し支援したい。

三 国道58号沿いの伊良皆地区周辺に交番設置は

答 村内に駐在所3ヶ所、交番1ヶ所所有。58号沿への交番設置は難しいが、県警本部と調整していく。

問 青年農業給付金事業を活用した後継者づくりを行うべきでは

答 給付金制度の要件が「独立・自営就農」となっている。農業生産法人で働く農業従事者は要件に該当しないと考える。

二 本村の農地転用許可申請手続きにおける整合性は

(a)農地転用許可で現況主義又は登記簿主義か

答 農地とは耕作の目的に供される土地として現況に着眼し規定している。農地法は「現況主義」といわれている。

四 いきいき親子「夢プラン」で両親学級が目標事業量として参加人員述べ200人実施。成果と課題について

答 「うぶ声教室」は1クール5回で年3回実施。平成25年度104人。成果として「うぶ声教室の内容、役に立った」との評価。又妊婦同志の交流の場としての役割果たした。課題として参加者を増やしたい。今後呼びかけの通知、勧奨の方法を再検討したい。



伊波 篤

ペットの飼育について

問 飼い主の飼育ルールの指導について。

答 犬のしつけ教室を開催している。現在でも鳴き声がうるさいというような苦情の電話がある。本村の犬取締条例に基づき、更なる指導を重ねていきたい。



飼い主のマナーを守りましょう!

問 飼い犬の標識の表示について。イメーシキカラクター「よみとん」を活用したシールを採用しては。

答 費用面も含めて調査をしている。指摘のような形で進めていきたい。

問 野良ネコに関するふん尿ごみあさり等の対処は。

答 ネコに関する苦情の対処は県内各地で問題になっているが現在ネコに対する法律がない。県をはじめ各市町村と一緒にどのような対策ができるか考えていきたい。

楚辺地域の水質調査について

問 水質調査の内容と結果の広報に関して。

答 正式な報告書は情報量が多く専門的であり、わかりにくいという指摘を受けているので現在、報告書の概要版の作成を検討している。ポイントを絞り、よくわかりやすい内容にする。

NPO団体の育成について

問 NPO団体の育成を目的として講座の開催を提案したが。

答 村民活動団体やボランティア団体がNPO法人格を取得するため「沖縄県ボランティア・市民活動支援センター」を所管する県環境生活部あるいは沖縄市市民活動交流センターからの

協力を得ながら講座の開催の実現に向けて検討を行っており。昨年度は、日程の調整がつかず開催できておりませんので、本年度開催を目指し取り組んでいく。

コンビニエンスストアの活用について

問 コンビニでの食用廃油プラスチック食品トレイの回収システムの実施について。

答 コンビニ側との話し合いは持たれてないが、衛生上の懸念や管理の問題もあり、対応は難しいとの回答を得ている。今後、何らかの協定を結んで、費用の負担もしてということについても、より詳細な議論、提案というのが現状です。そういうことができるかどうかというのを調べてみたいと思います。



山城 正輝

選挙用、名前入り「のぼり」に対する選挙の見解は選挙委員長「禁止されており、撤去命令を出し、嘉手納署へ通報した」

問 事業開始したら、補助はいくらもえるか。

答 助成を一件当り20万円とすると対象を10件程度と仮定し、予算額は200万円となる。財源内訳は、国50% 県村各25%です。15万円となる。

問 事業の内容と該当者は何名か。

答 在宅にて排泄、食事、着替えの介助を必要とする方々は64名。安心して生活を継続するためには、有効なサービスと考える。

問 介護が必要な高齢者を支える「24時間地域巡回型サービス」を導入すべき

答 一括交付金が次世代育成支援推進も可能になったことで、学校給食費軽減、待機児童対策などにも助成可能か

問 平成25年度事業の「道路整備プログラム」完成が遅れているのはどうしてか。

答 復帰後の村長選挙は五回無投票で六回投票されたが、同年に実施された村議選挙の投票率と同等の投票率は二回。



國吉 雅和

一 三月定例議会での九番議員の次の所見を選挙についての質問で検証

問 石嶺村政の一期目の成果と二期目の村づくり

答 一期目、読谷補助飛行場・大湾東地区等の跡地利用の推進。読谷型観光産業・スポーツコンベンション事業の取り組み。二期目は八つの方針に取り組み。

問 文書を無視してずっと立てっぱなしの状況をやめさせ、平等に選挙活動に入るためには「違法ですよ」という宣伝カーを走らせるか「撤去のぼり」を立てて、村民に知らせるべきだと思

問 対象者は、どういう方で、7年間措置してこなかったのはどうしてか。

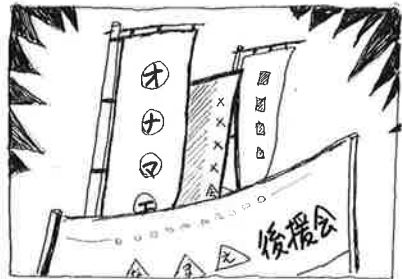
答 65才以上で、身の回りのことが自分ででき、在宅での生活が困難、経済的及び環境的理由がある方。措置してこなかったのは、希望する高齢者がいらつしや

問 障害者施設からの商品調達方針を早急に策定すべき

問 イとロについて、どのように考えるか

答 復帰後の村長選挙は五回無投票で六回投票されたが、同年に実施された村議選挙の投票率と同等の投票率は二回。

問 九番議員が指摘している取り引きがあったのか



選挙から「禁止」「撤去命令」の出ている違反「のぼり」など

問 調達をしている施設は、どこか。

答 都屋の里、高志保育園等3事業所。eライン等4事業所、デイサービスセンター美原よみたん。

問 調達をされている施設は、どこか。

答 一期目、読谷補助飛行場・大湾東地区等の跡地利用の推進。読谷型観光産業・スポーツコンベンション事業の取り組み。二期目は八つの方針に取り組み。

問 九番議員が指摘している取り引きがあったのか



賛否一覧表があり個々の議員の判断が一目瞭然です。又、議決時の討論に参加することにより説明責任を果たしている。因つて、公開度では全市町村議会でもトップクラスであり、議会の活性化に積極的に取り組んだ結果「全国町村議会議長会特別表彰」もいただいている。

問 立候補予定者の公開討論会開催を提案する。

答 検討したい



二、人口日本一の取り組み

答 カウントダウン・引き継ぎ式・音楽イベント・組踊り公演。今後は記念シンポジウム。

三、子育て支援について

答 認可化の方針は、待機児童の解消を目指すため認可児童の調査等を実施し判断する。

答 直近の課題は、保育士の確保と認可外では運営費に対する助成拡大。

答 中学校卒業までの子ども医療費の無料化は、財政の問題から現時点では厳しいが、村の施策に上がるよう対処する。

四、教育相談業務について

答 青少年センター(四名)・心の教育相談員(二名)・スクールカウンセラー(三名)で相談活動や居場所づくり等をはじめ関係四課や学校と連携し実行性のある取り組みを行っている。

提言 相談件数が対前年比で五割増の現状から、専門のカウンセラーである臨床心理士を村費で一名配置することにより、課題解決に結びつくことと提言する。



山内 政徳

一 待機児童〇を指すべきと思うが考えはあるか

答 もう一園増やすとか、定員増も行い精一杯取り組んでまいります。

二 小一の壁が全国的に問題となっているが読谷村での現状はどうなっているか

答 今後児童館の設置や放課後児童クラブの設置、わんぱく広場の充実などで子供達の居場所づくりに努めていきたいと考えています。

三 役場庁舎の省エネ対策について検討している事は。

答 電気料金で五百万円削減しました。またそれ以上の削減についてはまだ見えておりません

問五 読谷村の財産処分について前に質問した旧読谷保育所跡地についてはどのような状況か。

答 現在一事業者から購入したい旨の要請を受けており、売却に向けて調査検討をしている段階にあります。

問七 こども医療費の中学までの完全無料化について検討できないか。

答 今後、国や県の動向を見据えながら検討をしてまいります。

四 村内の防犯灯を全部LED照明にするか。またリース方式にするか。

答 防犯灯は千八百基ございます。試算は難しいが概算で一億円、リースについてはリース期間で割った額になります。

問六 字別構想について、本年度予算施行のめどはどうなっているのか。

答 今年度は三百万円、上地自治会から補助金を活用したい旨の申し出があり事業内容について相談を受けている段階でございます。字有地にプレハブを建てて、老人会、子供たちが気軽に集まる集会場をつくりたいとの事です。

40歳から10年ごとの歯科の無料検診を実施してはどうか

答 現在、歯科の40歳以上を対象とした無料検診については導入の予定はございません。しかしながら、歯周病患の罹患が増加している中、歯周病等に関する知識予防方法の普及啓発に努めていく必要があると考えております。



市内の防犯灯のLED化を!



伊佐 真武

一、長田川・比謝川沿岸の整備に向けて

問 長田川南東部及び比謝橋付近を公園化する前提として、比謝川堰の撤去、もしくは魚道付の堰に移設改修等、専門機関への調査・研究が必要と考えますがその見解を伺います。

答 検証が必要かどうか内部で再度また検討させていただきます。

問 比謝川の堰の問題を解決して、読谷村の玄関にふさわしく整備することは文化村読谷村として取り組むべき課題と思いますが村長の見解を伺います。

答 比謝川、特に長田川は沖繩本島中部に唯一自然が残された河川だと思ってい

まして、議員の提案がある様に色々な活用の方法、例えば親水公園とかあるかと思いますが、現状では課長部長が答弁した様に堰の問題等含めて、改めて幅広く検討させていただきたいと思えます。



せき止められている比謝川

二、大湾東地区内を通る比謝く牧原線について

問 ①この路線は国道58号の渋滞解消にもつながるが、工事再開時期と供用開始はいつ頃か。

答 道路部分については、七月頃から再開。橋梁部は来年度に下部工事に着手。道路全体の供用開始時期は平成三〇年度。

問 国道58号と並行する大湾2号線の供用開始は。

答 早ければ今年度、来年度には供用開始される。

三、東原遺跡について

問 この遺跡は沖繩の土器文化が六五〇〇年前から九州とつながっていた事が考古学的に証明されたきわめて価値の高い遺跡である。国県指定史跡として申請し、整備すべきでは。

答 比謝川沿岸の整備の検討の中で遺跡の整備、指定等考えていたが、構想の見通しが立たず長い時間経過した。今後は重要な遺跡らしく、皆様に知ってもらえ

る様に県や文化庁の指導を受け検討していく。

四、住宅リフォーム事業について

問 これまで三回、質問に取り上げましたが、この間の検討状況はどうなっていますか。

答 県の住宅リフォーム制度実施要綱を踏まえ、あとしばらく調査検討をしております。

提言 この事業は住環境の向上に資すると共に経済波及効果も高いことが全国の多くの自治体でも実証されています。県の制度も併用し、リフォーム工事の対象が広い、村独自の事業実施も検討していただきたい。



大城 行治

問 大湾地区、大木地区の土地区画整理事業について伺います。

問 高齢者の確認方法について（認知症も含む）

要望 成功のためには、村当局の区画整理推進体制の強化が重要である。今後とも積極的なサポート体制をお願いする。

答 読谷村第2次都市計画マスタープランにおいて、村南部地域の軍用地跡地については、市街地整備の一環として区画整理事業がスタートしている。村北部地域については、集落と調和した農村環境、景観を生かした集落・田園住宅地域の形成を進める。大湾地区は施工面積25.4ヘクタール、総事業費二六億六千八百万円、計画人口2,000人、事業期間は平成21年度〜平成30年度。大木地区は今年度組合が設立予定となっており、施工面積18.3ヘクタール、総事業費二六億一千八百万円、計画人口1,500人、事業期間平成26年度〜平成35年度になっている。

答 村内において認知症が原因で警察に届け出があつた不明者は、平成24年度1件、平成25年度3件である。徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの構築、認知症高齢者の見守りのための訪問など、地域における認知症高齢者の見守り体制を構築することが重要な取り組みである。また、「認知症サポート」の養成講座の開催も計画している。

要望 県内においても認知症不明届け出が63人(H12)いる。本村においても、早急に関係機関との話し合いを持ち、早期発見につながる仕組みを構築してほしい。

←



「よみたんブランド」
パワーアップキャラクター
よみたん

よみたんは
みんなの
元気な
シンボル

読谷村の
イメージキャラクター
「よみたん」

問 キャッチコピー、ロゴマーク、イメージキャラクター等「よみたんブランド」について伺う。

答 経済団体や有識者からなる「よみたんブランド向上委員会」を設置し決定した。キャラクターについては6体のキャラクター候補から「よみたん」が決定された。村内の様々な団体と連携しながら「よみたんブランド」を活用し活性化を図りたい。今年度「よみたん」の着ぐるみも2体ほど作りたいたいと考えている。

問 地域づくり(まちづくり)と観光との連携の可能性は。

答 まちまーい等、地域の個性豊かな文化や歴史、自然と触れ合えるように、地域住民を巻き込んだ「村巡りガイド」の育成などを行い、それが雇用につながればと考えている。



津波古菊江

ゴミ減量化と資源ゴミの再利用について

問 資源、ゴミの有効活用、環境保全と物を大事に使い切る資源ゴミの啓発を兼ねたリサイクルプラザの設置(仮称)をし、古布、古着等のリフォーム教室や需要の高い子ども服、学生服を中心としたリユース市の拠点づくりを提案したが、その後の調査研究について伺う

答 一〇自治体が古布回収を行っているが、名護市のエコステ3Rの取り組みは洋服、食器は無料持ち帰り、制服については各中高校の生徒会が学校で回収しエコステに持ち込む、その売上げは学校の生徒会にバックする。環境行政の様々な情報を発信する場、市民の環境に関する活動拠点の場となっており非常に興味深い

問 資源、ゴミの有効活用、環境保全と物を大事に使い切る資源ゴミの啓発を兼ねたリサイクルプラザの設置(仮称)をし、古布、古着等のリフォーム教室や需要の高い子ども服、学生服を中心としたリユース市の拠点づくりを提案したが、その後の調査研究について伺う



使いやすいゴミ袋の導入を!

村指定ゴミ袋をU抜きゴミ袋に改善する事について

取り組みと感じた。施設としては環境行政上は重要な施設と捉えるが環境行政に長けた人材の確保が難しいが本村の一つの重要施策なので前向きに検討していきたい。

問 U抜きゴミ袋の利便性と村民サービスの向上に導入を提案したが前回質問の課題についての答弁を含め再度伺う

答 一自治体から現在五自治体が導入、ゴミ袋の原価も一円までの差がない。

問 こども医療費を入院に続き、通院も中学卒業まで無料化する事について国や県の動向はどうか、本村の課題は何か

ゴミ袋は県産品で対応できない。導入については先行市町村の状況などを参考にしながら導入に向けた調査を進めていく。

答 国からの直接補助はない。県からは通院は3歳以下で基準年齢の見直し情報はないが社会問題として若い子ども高年齢等の問題解決で子育てへの予算拡充も方針で示されているので医療費の無料化についても今後の動向に注視している。本村の課題については県からの補助金がないことから村単独で実施しなければならぬ事から財政の確保が大きい課題である。

問 現在一四自治体がこども医療費通院中まで無料化を実施しており更に今議会中に恩納村も来年から実施するとの情報もあり、財政的に厳しいとの答弁であるが、北谷、嘉手納、恩納村と両隣町村での実施は子育て中の親が不公平を感じる懸念がある。子どもの病気の早期発見と早期治療で健康な育ちを願う、親の貧困の格差が子どもに連鎖しないことを願いたい。健康のスタートラインは同じであってほしい。

答 将来を担う子どもの為に子育て支援は非常に重要な事項だと思う。今ある議論も踏まえて考えていきたい。



當山 勝吉

第41回読谷村6月定例議会において、一般質問を行います。議長5番當山勝吉であります。

私は今限りで議員を退きたいと思いますが、3期12年私を支援して頂きました村民に対し、この場をかりましてお礼申し上げます。有難うございました。9月27日までの任期を現職議員として頑張りは後任へ譲りたいとおもいます。今後は一村民として地域へ貢献することを申し上げ一般質問をおこないます。

一、渡具知自治会よりの陳情6号(ホテル予定地の進入路)について

問 ① 渡具知自治会役員とどう議論したか伺います。
答 平成25年11月29日に

後、村との議論はなく再度自治会の審議委員会で話し合った後、区と話し合いを進めていきたいとのことでございます。

問 ② 庁内でどう議論したか伺います。

答 平成26年5月1日に副村長を中心に関係職員会議を開催いたしました。内容につきましても関係資料の整理を進めていきたい。

問 ③ 県とも議論したか伺います。

答 今後の進捗状況を見ながら議論していきたい。

二、大添自治会よりの村道楚辺座喜味線の早期整備について伺います。

問 ① 道路整備プログラム変更及び策定基準について

答 県道6号線から中央線波線が暫定的整備がされたこと、将来交通量推計や費用便益分析、事業スタミナ等も考慮し整備順位が整備された。



歩道もなく急勾配で危険な地域

問 ② 大添地域における県道6号線の交通渋滞をどう認識し解消していくべきか。

答 慢性的な交通渋滞が発生する状況があります。対策として、読谷道路等の整備や村道残波線と村道波平都屋線の早期整備が最善の緩和策と考えます。

問 ③ 中央残波線向け県道6号線の楚辺入口から100m区間は歩道もなく急勾配で見通しも悪く危険な状況と考えるが当局の考えは。

答 歩行者の安全を図る上で好ましい状況ではないと考えておりますが、新たな事業の採択は難しい状況です。日常の草刈り等の維持管理を行い安全対策を図りたい。

三、読谷補助飛行場跡地利用について。

問 ① 法人組織名と会員数を伺います。

答 法人名は読谷山野、農園楚辺、波平農園、木ん根農園、いらんまであります。

問 ② 土地改良区内に耕作残地がでた場合村の対応を伺います。

答 飛行場跡地利用実施計画に基づき農業法人に貸付し将来売渡していくことになり。仮に耕作残地がでた場合は原因を調査し対応したい。

問 ③ 5農業法人の割当面積はいくら

答 読谷山野45.15ha、農園楚辺15.67ha、波平農園7.99ha、木ん根農園12.97ha、いらんま19.74haとなっております。



當間 良史

「人口日本一の村をアピールしよう！」

ん」をメインに活用できればと思っております。

問 本村のイメージキャラクターを、沖縄市や、南城市のように、原付バイク(原動機付自転車)のナンバプレートに使用しては。

答 その件につきましては「人口日本一の村事業」の中で検討し税務課との意見交換を行ったが、キャラクターが選定される前であったので実現していないが再度関係課と議論していく。

問 人口日本一の村となった本村が取り組む「ブランド事業の取り組みの成果は。

答 村民参加によるイメージキャラクター選挙において1位を獲得した、「よみと



日本一の村をみんなでアピールしよう！

問 昨年本村を利用された外国人観光客の人数は。

答 村内5カ所の主なホテルの実績で、宿泊人数の総数で4万1,082人また主な観光施設（体験王国むら咲むら・GALA青い海・読谷村民俗資料館の3カ所）の利用者の総数で7万1,309人の利用があり、本村の外国人観光客の人数は増加の傾向にあります。利用者の多い国では台湾・中国（香港）・韓国・米国となっている。

問 現在沖縄県の観光誘客数は年々増加傾向にあり、昨年度の総数で658万人を超え過去最高となっており、それに伴い外国人観光客数も62万7000人と、こちらも過去最高となっています。そこで利用施設を対象に言葉が通じなくても意思の疎通ができる指さしパネル等を取り入れては。

答 最近、外国人観光客向

けのメニューを取り入れる事業所が増えてきています。観光協会と協議し普及に努めていきたい。

「リゾート地域での悪臭問題」を問う

問 現在、西海岸リゾート地域において悪臭問題が報告されています。村の対応は。

答 本村としては悪臭に対する調査は行った事は無いが、観光業と農業が共存共栄できると協賛していきたい。



城間 勇

一 村道伊良皆南線と国道五十八号の交差点の改良工事の目処について。

答 今年度着手を予定。

二 村民センター線の街路樹について

問 村民センター線の街路樹の植え替え目処について

答 村道楚辺座喜味線開通後に予定している村道村民センター線の工事の際に植え替えたい。平成二十九年四月を予定、樹種の選定については枝張りのある樹種を想定しております。

三 渡具知東原一帯の土地利用計画の策定と比謝川河口の読谷側の護岸整備と、船揚場の早期実現について

問 渡具知東原一帯は六五〇年前の渡具知東原遺跡や旧日本軍が建設した特攻艇の洞穴が六カ所ございます。この洞穴の活用課題を含めて東原遺跡一帯を保存整備すれば、泊城公園とリンクした観光資源や学習の場、名所旧跡にもなり得ると思えます。特攻艇の洞穴や東原遺跡への車道の進入路を整備していただきたい。（答弁記載無し）

問 比謝川河口（渡具知港）は、戦前から戦後間もないころまでは川幅が約二十五メートルで、干潮時は子どもたちでも水釜まで歩いて渡ったり、泳いで渡ったりしたそうです。戦前の比謝川河口（渡具知港）は山原船発動汽船（ポンポン船）が山原や離島から牛、馬、材木、薪等を積んで入港し、比謝川の市場へ搬送する交易港として栄えていたそうで、人家もあつてンマイ（馬場）やウシナー（闘牛場）等もあり大人や子どもらも集まり語らいの場所だったと言われておりますが、戦後急激に浸食されて字有地や砂浜等、約二、〇〇坪が海没しております。現在でも特に台風等に浸食が繰り返され加速しております。現状を解決するためにも比謝川河口や東原一帯の浸食防止対策として、石積みでの護岸整備、あわせましてそこには村民が利用できるような船揚場や船着場の建設が実現できますよう県の河川課や漁港課に働きかけをしていただきたい。

答 貴重な東原遺跡のほか、旧日本軍が建設した特攻艇のあとに残っており、学習活動の場としての可能性も含め検討すべきものと考えます。また浸食防止対策の実現に向け関係機関との意見交換を再開したい。



渡具知区にある旧特攻艇船着場

四 信号機の設置について、読谷道路古堅南クリニック東側三叉路への信号機の目処は

答 嘉手納警察署としても危険性は把握しておりますが、既存の信号機との距離が近すぎるため設置の目処がたないとの事。



知花 徳栄

一、行政区域について

問 (1) 四月からスタートしたが村民からの問い合わせは。

答 総務課への問い合わせは五件で、内容は自分が何区に属しているかの確認と区域設定制度の内容についての確認で、説明の中である程度納得はされている。

問 (2) 区域割の図面等を全世帯に配布する考えはないか。

答 各自治会へ区域図を配布済みで、全区域の図面は六〇〇ページ超で、図面の各世帯配布は考えていない。

再問 文書による通知は可能だと思いが。

答 区割りの中で北の何区とか南の何区ですよとかは

通知できると思うので、出来るような方法で周知したい。

再問 自治会長会議で、行政区と自治会業務の区別はどのように説明しているか。

答 自治会、自治会職員を対象に以前からいろんな形で説明、現在もやっているが、ユイメール事業とか防災等については区域内にいる方は全て対象になりますと説明を行政として行っている。

再問 個人情報公開できる範囲で行政区民の世帯主名簿を自治会長へ配布できれば、会の加入促進にも繋がると思うが。

答 ある程度の条件を付けて自治会に提供いたします。

二、村文化センターがオープンして一五年が経過し多くの団体が利用されていると思えますが二五年度の鳳ホールとふれあい交流館の稼働率について伺う

答 鳳ホールが四三%で他

市町村と比べて中の位置、ふれあい交流館は毎日の利用で一〇〇%の稼働率になります。

三、本村の農業経営について

問 (1) 担い手の育成の考えは。

答 村農業担い手育成総合支援協議会を中心に、関係機関と連携して育成、支援に取り組んでいる。

問 (2) 小菊と紅イモが拠点産地だが、今後拠点産地に有望作物は、支援策の考えは。

答 今後拠点産地になりうる有望作物は、ニンジン、ゴーヤー、マンゴー等を想定

その支援として今年度から二十八年度までの三年間、県中部農業改良普及センターJJA沖繩中部地区農振センター、読谷村で総合指導チームを設置し、「地域農業振興総合指導事業を実施している。事業推進委員会

分野ごとの指導に取組中。

四、瀬名波通信施設跡地利用推進事業について、事業の進捗状況と事業開始予定年度はどうか。

答 事業同意率が七九、四七%、同意九〇%以上が採択要件で現在は瀬名波の役員と連携して取り組んでいる。事業開始年度は平成二八年の事業採択を目指している。

再問 地主会、村、県も連携して早めの事業開始と国の補助も増額要請も願っています。



瀬名波通信施設跡地利用推進事業予定地

読谷村定員適正化計画について



比嘉 郁也

なっていないが行政改革はどのように評価しますか。

答 平成十六年当時は全国の自治体の中で早いほうでした。ご指摘のように、全部が全部権限移譲にかかわる業務ではないですが、特に福祉部門がウェイトが大きくなっておりません。

主旨 読谷村議会基本条例は前文で、議論を通して村民の皆様に透明性と公平性を確保する事によって、議会として村民の信頼を得るとしています。本計画は増員ありきの計画書になってないか、疑問を正したい。

問二 本村の二七七人の定数根拠は何ですか。

問一 計画書職員数の推移で、退職者不補充等で減員してきたとしていますが、評価もすべきでは、

答 復帰以後、社会情勢や組織機構の見直し等で変化をして人数が動いていくものと考えております。

問三 類似個体との比較で十一団体とした根拠は

答 村は三団体と残りは人口について同規模の自治体を抽出しております。

答 安田慶知 現状分析でありまして評価については行政改革実施計画により評価しています。

問四 東海村は異常値であり東海村を除いた一〇団体では結果が逆の数字になる。

答 東海村の職員数が抜き

再問 行政改革で六六名の削減目標が三九人減にしか

出ていると質問だと思

答 仲宗根求 屋根を平瓦葺きとして、城跡稜線の景観を損ねないように配慮した

民俗資料館、美術館の改築場所は決定されたが、現在の美術館は城跡稜線の景観を損ねていませんか。

答 浜川秀樹 基本設計を発注した時点で沖縄県と協議を行いました。利用道路は併用、併設不可の指示がございましたが見直しを行い、補助メニュー等議論をして現時点に至って、条件整備のめどが立って実施設計の発注を繰越事業で行います。

火葬場建設場所を見直すべきでは

問五 以上のことから計画を再検討すべきでは
答 社会情勢によって適宜見直しを行いません。

ますが人口要件で比較した。

ものとなっている。

パークゴルフ場と親水公園整備計画の進捗状況は

答 山内猛 道路や公園整備等との優先順位、財政状況を踏まえ実現に向けて検討します。

再問 村民手づくりのパークゴルフ場をつくりませんか村長

答 非常に検討に値するところと思う。



村民みんなで楽しめるパークゴルフ場をつくらう！

平成25年度政務活動費収支報告書

交付総額18万円 平成25年4月～平成26年3月分（月額15,000円×12ヶ月）

* 交付総額から支出の総額を控除して残余がある場合は返還になります。

【政務活動費】政務活動費は、地方自治法第100条第14項・第15項及び読谷村議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の村政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費
議員が行う村の事務及び行財政に関する調査研究に要する経費（講師謝礼費、交通費、宿泊費等）	団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に関する経費（会費、交通費、宿泊費等）	議員が行う各種会議に要する経費（会場費、機材借上げ費、交通費、資料印刷費等）	議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷・製本費、原稿料等）	議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費	議員が行う議会活動及び村政に関する政策等の広報活動に要する経費	議員が行う調査研究のための事務遂行に必要な経費（事務用品費、通信費等）

平成25年度政務活動費収支報告書

氏名	使 途								交付総額 15,000×12ヶ月	残余金
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	合計		
新垣 修幸	93,646							93,646	180,000	86,354
照屋 清秀	162,725	53,800		22,005				238,530	180,000	
知花 徳栄	93,646							93,646	90,000	
仲宗根盛良	98,736	89,640		660	26,487		29,630	245,153	180,000	
伊波 篤	167,520				14,235			181,755	180,000	
當山 勝吉	227,000							227,000	180,000	
大城 行治	97,121	130,637			9,715			237,473	180,000	
當間 良史	234,521			950	9,760			245,231	180,000	
上地利枝子	217,551			380	8,760			226,691	180,000	
城間 勇	63,500							63,500	180,000	116,500
津波古菊江	93,646				14,911			108,557	180,000	71,443
山内 政徳	162,967							162,967	180,000	17,033
長浜 宗則	159,846				9,760			169,606	180,000	10,394
上地 栄	137,400				12,260	64,560		214,220	180,000	
伊佐 眞武	87,140					15,000		102,140	180,000	77,860
計	2,096,965	274,077		23,995	105,888	79,560	29,630	2,610,115	2,610,000	379,584

躍進する読谷漁協！！

読谷漁協は、5トン未満の漁船を使用する沿岸漁業を営む漁業者を中心に年間約150トンの水揚げがあり、その70%近くが定置網漁業による水揚げです。読谷漁協の定置網は県内最大の大きさを誇り、東京タワーより大きい全長約360mとなっています。大型定置網は平成4年度から操業を行っており老朽化が進んでいました。平成24年度第408回読谷村議会定例会で採択された沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）により定置網漁船（総事業費120,750,000円）、ジンベイザメ生簀（総事業費10,692,192円）の購入を行いました。定置網漁船は、観覧デッキやモニター等を整備した県内初の観光定置網漁船となり平成25年度は体験者が目標の1,000人を達成する事が出来ました。ジンベイザメ生簀では、大型定置網で捕獲されるジンベイザメの飼育をおこなっており、国内で唯一ジンベイザメと一緒にダイビングができ国内外からの観光客が訪れる施設となっています。

また、新たに大型定置網も入れ替え『読谷漁協直売店 いゆの店』では新鮮で美味しい魚の販売も行っています。今後も村民の皆様へ地域のお魚屋さんとして親しんでもらえるよう取り組んでまいります。



定置網体験



ジンベイザメ



いゆの店食事風景

傍聴へ行こう！

平成26年9月定例議会は9月29日(月)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225